



ご存じですか？

12月3日から9日までの1週間は
「障害者週間」です

問い合わせ 福祉課 ☎72-8214

「障害者週間」とは

障害者基本法では、全ての障がいのある人に対し、「個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有す」こと、「社会を構成する一員として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が確保されること」を旨とする。何人も、障害者に対して、障害を理由として、差別することその他の権利利益を侵害する行為をしてはならない」としている。

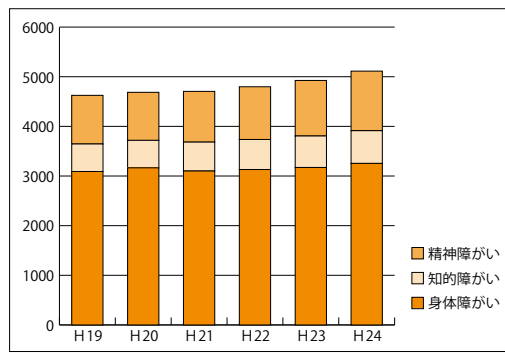
「障害者週間」は、国民の間に広く障がいの者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がいの者が社会、経済文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としています。

この「障害者週間」をPRし、障がいの者の社会参加を推進するため、障がいの者団体が協力して「障がいの者週間記念事業」を毎年行っています。22年度からは、江釣子ショッピングセンターパルの協力を得て、パル・ジョイスタジオで「音楽と芸術の集い」を開催。障がい福祉サービ事業所、専修大学北上福祉教育専門学

校をはじめとする多くのボランティアの協力で障がいの者団体のパネル展示、障がいの者作品展示を行い、多くの人に障がいの者の活動を披露しています。

障がいの者児数

市の障がいの者数は増加傾向にあり、総人口に対する障がいの者比率は5%前後で推移しています。



※障がいの者数：身体・知的は手帳所持者数、精神は治療中の患者数各年度末現在。

当事者会・家族会

さまざまな障がいの当事者会、家族会が結成され、活動しています。

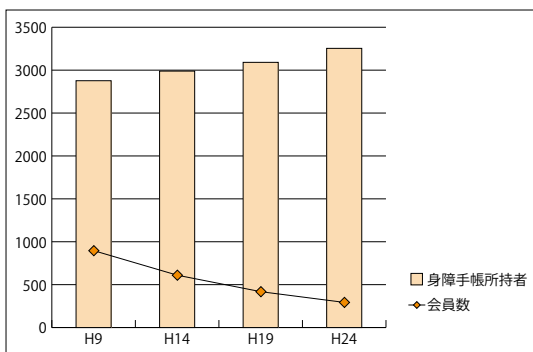
各団体の結成された時代や背景は違いますが、共通して

いるのは、障がいがあっても安心して生活できる社会を目指し、多くの当事者、家族が集結して活動しているということです。

現在は障がいの者に対する各種法律が制定され、以前と比較して、地域で生活しやすい環境が整ってきています。また、必要な情報は、インターネットを通じていつでも入手することが可能です。

このような中、各当事者会、家族会に共通する新たな課題が見えてきました。それは、高齢化に伴う会員の減少と新規加入者が少ないという課題です。

左記グラフの身体障害者福祉協会の状況を見ると、身体障害者手帳所持者数は増加し



ていますが、会員数は減少しています。他の団体も同様の状況にあります。

会員の高齢化と減少について、①会長、副会長などの役員の後任者がいない②事務局などの適任者がいない③会の活性化が乏しい、と分析しています。当事者や親の一部に「会に加入すると役員を押し付けられる」という意識があり、加入につながらないと分析している団体もあります。

重度の知的障がいの者の母親は、家族会活動に参加して「役員は面倒と思うことはあるが、それ以上に親同士の交流の中から得られる情報や、つらい気持ちを分かち合えることなどメリットが大きい。生の声だからこそ、役立つことが多い」と感想を話しています。

また、東日本大震災直後には、全国組織などから被災地に向けて、障がいの特性に応じた支援が行われました。募金活動をはじめ、支援物資の支給、安否確認や情報収集・情報提供などの取り組みがされたほか自閉症協会では、沿岸の会員から障がいの者が必要とする物資を事前に聞き取り、被災地に持参しています。ま

た、ろうあ協会員は、給水所などの必要な情報は役員や支援者から電子メールで連絡があり、安心することができたと、仲間とつながっている安心感を話しています。

「わたしらしく生きる」

各団体では障がい者が住み慣れた地域で、「わたしらしく」生きることを目指しています。

一人一人の力は微々たるものですが、仲間が集い、「ささえあい、学びあい、活動すること」で、目標に近づくことができると思います、活動を継続しています。

そのためには、家族をはじめ、地域の皆さんのさらなるご理解とご協力をお願いします。

今後の行事予定

○手をつなぐ育成会「フライングデイズク大会」12月15日(日)サンレック北上

○身体障害者福祉協会「体験発表と歌と踊りの交流会」12月6日(金)北上市総合福祉センター

○障がい者週間記念事業「音楽と芸術の集い2014」平成26年1月19日(日)江釣子ショッピングセンターパル

市内で活動中の障がい者団体の紹介 くささえあい・学びあい・活動しよう

①活動内容②PR③連絡先

◆北上市身体障害者福祉協会

①活力ある障がい者団体を目指してグラウンドゴルフ、ニュースポーツなど、大会の実施と他障がい者団体との交流、県外障がい者施設の視察研修など②会員の減少と高齢化が進んでいます。一緒に活動する仲間を募集しています③会長 中館久二(73-7052)

◆岩手県自閉症協会北上支部

①定期的にお茶会や交流行事を開催しての情報交換。県全体としては、年一回の療養キャンプや各研修会、講演会などを開催。②自閉症の特性を理解していただく機会が多く、とてもありがたく思っています。さらなる理解をお願いします③岩手県自閉症協会(ふれあいランド岩手内)(019-681-8967)

◆日本オストミー協会岩手県支部

①オストメイト(人工肛門・人工膀胱保有者)の手術後の社会復帰と生活の向上を図るための活動②オストメイトが安心して暮らせる社会を目指しています。どのようなことでも気兼ねなく連絡してください③花巻・北上地区世話人 高橋(090-7328-13105)、岩手支部事務局長 川村正司(090-3128-1123)

◆岩手県視覚障害者福祉協会北上支部

①北上支部主催事業：総会、研修会、会員交流会、スポーツ教室、月一回サウンドテールテニス練習会・県本部主催事業：視覚障害者福祉大会、各種スポーツ教室、各種研修会、全国、東北盲人福祉大会などへの参加②事業を通して情報交換を行い、日常生活をより豊かに過ごせるようにするを目的に活動しています③北上支部長 高橋義光(63-4154)

◆岩手県ろうあ協会北上支部

①北上市手話奉仕員養成講座の手話指導、北上ケーブルテレビの番組制作、各種手話講座など②ろうあ者のコミュニケーションは手話です。私たちの暮らしを安全で豊かにするために手話の普及に努め、近所の人たちとも交流を持ちたいと願っています③支部長 武田祐一(ファクス66-2937)

◆北上市手をつなぐ育成会

①研修会・学習会での情報交換や本人の余暇支援②知的障がい者・児の親と支援者で構成された団体です。地域社会において安心して、生きがいを持って暮らせることを目標として活動しています。わが子ので活動していただくこと、行動に賛同する人はご連絡ください③市役所福祉課(72-8214)

◆北上腎友会

①学習会と交流活動、移植キャンペーンとして意思表示カードの配布②生命維持のため人工透析をしている患者、家族の集まりです。腎臓移植推進活動を始めとする、よりよい医療の啓発を目指して

います③事務局 高橋(73-5017)

◆北上地区精神障がい者家族会 北和会

①定例家族相談会(毎月第3土曜日午後1時から3時)、岩福連(県連)主催の家族大会、その他各種研修会への参加②精神障がい者を家族に持つ人たちの会です。精神障がい者が苦しんでいるのは当事者ですが、家族もどのように接しているのか悩んでいると思います。情報交換しながら、当事者との接し方など学習し合っています。聞くだけ、座っているだけでもいい「癒しの場」です③会長 及川(66-4655)

◆高次脳機能障がい者を支援する会 あすなる会

①定期的にみんなで集まり、それぞれの良さを生かした活動。②同じ悩みを抱える当事者、家族の「居場所」、それが「あすなる会」です。この障がいについて悩んでいる人・家族の皆さん、私たちと一緒に「二歩」を踏み出してみませんか③日高見中央クリニックリハビリセンター 高橋(61-0888)